

## 議題2 情報交換（振り返り、意見及び質疑応答）

3年間のコロナへの対応を振り返り、位置づけ変更に向けての御意見や質問等をいただきました。主な内容は以下のとおりです。

※以下、重点医療機関→（重）、入院協力医療機関→（入）、診療検査医療機関→（診）、安足健康福祉センター→（安）と記載しております。

### 【3年間の振り返り、今後に向けて】

- ・3年間診療規模を拡大して、最近では妊婦、透析、小児科も受入れを進めてきた。コロナが急増した場合は、地域医療と連携して、地域医療に貢献していきたい。（重）
- ・妊婦や小児、重症患者など多数の患者を受入れ、多くの経験を積んできた。今後は、中等症以上や急性期医療が必要なコロナ患者を診なければいけないと思っている。（重）
- ・当初から、年齢性別関係なく診療検査医療機関として対応した。今回位置づけが5類となるが、現状でも発熱があることを理由にかかりつけ患者も診療できない状況が散見されるので、拡大しないかという点を危惧している。（診）

### 【意見】

- ・新型コロナの患者が増えた時に通常診療を縮小することで、救いたかった命が救えないことが無いように、今後は対応する医療機関が増えてほしい。（重）
- ・新型コロナの類型が2類相当から5類に変わること、地域での役割分担をしっかりとできればと思っている。自宅療養が可能な患者については地域の医療で診ていただきたい。（重）
- ・応召義務について、正当な事由が無い限りは、かかりつけの医療機関において、せめて診断までしていただきたい。（診）
- ・診療できないことがあれば、紹介先の先生に了解を取った上で、診療情報提供書を提供してから紹介して欲しい。（診）
- ・診療情報提供書について、共通の書式等で何かしらのやり方を考える必要がある。（診）
- ・診療を受けてくれる医療機関にかかりつけ以外の患者が殺到するような状況に戻らないようにしなくてはならない。（診）
- ・患者の行き先（受診先）が無いという状況が生じないようにしなくてはならない。（診）
- ・入院患者の受入れについて、二次救急はコロナ以外の急性期患者の受入れも行わなくてはならないので、今後はさらに地域医療に協力をお願いしたい。（重）
- ・他の医療機関から入院を打診される場合、診療情報提供書が大切。本当に入院が必要かどうかの判断ができるような内容を提供いただきたい。（重）
- ・診療情報提供書のフォーマットなども作成できるとよい。（重）

### 【質疑応答】

Q：定点報告の方法が分からない。（入）

A：すでに発生動向調査のインフルエンザ定点として協力していただいている医療機関に追加で御協力いただくことになっている。（安）

Q：現在、コロナのみなし陽性はできないことになっているが移行後はどうなるのか？（診）

A：検査診断が必須かどうかということかと思うが、今のところ国からは、移行後はインフルエンザと同様に検査診断は必須ではなく、臨床診断でも診断可能ということが示されている。（安）

Q：10月以降の医療機関間の入院調整について、患者が増えてきて医療機関間で調整ができない場合は？（診）

A：患者が増大した際の対応の方向性は現在のところ未定。国はG-MISを活用した調整を想定している。10月以降の患者増大時に保健所や県が対応する可能性等について、現時点では、詳細な回答は持ち合わせていない。（安）

→医療機関間でうまく調整ができない場合には行政が全く関与することがないということは  
さけていただきたい。よろしく願いしたい。(診)

Q：発熱の患者の診察について、院内に入らずに車内で待機をしていただいているが、5類移  
行後も外で対応していいのか？(診)

A：院内感染対策を講じるために、動線をわけて車内での対応をされるのは問題ない。インフ  
ルエンザでも対応していただいているのと同様に対応いただければと思う。(安)